



旬のかまぼこ
のぼり

爽やかな秋風に葉をゆらすオリーブ。
太陽の光を浴びて、上に伸び、横に広がり、
目一杯、その命をきらめかせている。
いわきオリーブプロジェクト。
風雨に強く、さまざまに加工できるオリーブを
農業再生の切り札にしよう。
わずかな数人で立ち上げられたプロジェクトも
少しずつだが広がりを見せてきた。
人と人をつなぐオリーブ。
太陽と風と水、そして「人の縁」を栄養に
強く、たくましく、育っている。

10月の料理



スカイストアの「オリーブ麺」、
小川キノコ園の「エリンギ」、芽子にんにくをつかった

オリーブ麺とエリンギのペペロンチーノ

爽やかな風味と細麺が特徴のオリーブ麺に
しゃきしゃきのエリンギが花を添えます。
ポーノ棒のチーズも相まって、気分はまるで地中海。
いわきイタリアン。これからの定番になりそう。



LET'S COOKING

- ①オリーブ麺を茹でる（茹で時間3分）
- ②エリンギを炒め茹であがった麺とからめる
- ③塩、胡椒、コンソメなどで味を整え盛りつける
- ④ポーノ棒をサイコロ状にカットして散らす
- ⑤グリルした芽子にんにくを載せて完成！



いわき市市平上平窪のオリーブ畑。その成長は、多くの人に希望を与えている。

今月の
Column

いわき市市平上平窪の田園風景の中に、
オリーブを植えた畑があります。オリーブ
というと香川県の小豆島が有名ですが、
「西の小豆島、東のいわき」にするべく、
いわき市のあちこちでオリーブの栽培が
始まっています。

栽培を進めているのは、「いわきオリーブ
プロジェクト」。日照時間が長く、栽培に
適したいわきでオリーブを育て、新たな
地域資源にしようというプロジェクトです。
耕作放棄地を多く抱えるいわきの「農業
再生」の柱にもと期待されています。



理事長の松崎さん。「農商工連携伝導師」として活躍する経営者だ。

商品化されたものはまだ少ないですが、
オリーブの植樹を通して、人と人との出
会いが生まれ、ネットワークができてき
ました。「ビジネス」としてだけでなく、
オリーブを育てることを通じて、さまざ
まな人と人との「つながり」が生まれ
ているのです。

理事長を務める松崎康弘さんは、「原発
事故の影響で農家に閉塞感が漂っていま
すが、オリーブは食品だけでなく化粧品
としても加工できます。実際には、ほと
んどが輸入されたものばかりですし、い
わき再生の鍵になりますよ」と期待を口
にします。

Check! **いわきオリーブプロジェクト**
<http://iwaki-olive.com/>



貴千と いわきのうまいもの。コラボショップがオープンしました！

いらっしやい！

『きせんと』

いわきのかまぼこ貴千が、さまざまないわきのうまいものコラボ。
定期的に個性豊かな商品をご提案いたします。



新登場：今月紹介した料理が楽しめるセットです！

『きせんと』 GO!